

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 4 月 2 3 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 1 1 7 9 5 2
Application Number:

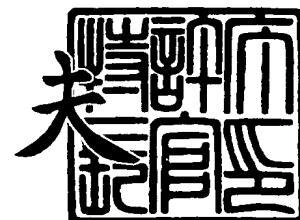
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 1 1 7 9 5 2]

出 願 人 コニカミノルタフォトイメージング株式会社
Applicant(s):

2 0 0 4 年 2 月 1 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 DMI00099

【提出日】 平成15年 4月23日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06K 19/00
G06F 7/00
G03B 29/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカフォトイメ
ージング株式会社内

【氏名】 上田 豊

【発明者】

【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカフォトイメ
ージング株式会社内

【氏名】 五十嵐 隆史

【特許出願人】

【識別番号】 303000419

【氏名又は名称】 コニカフォトイメージング株式会社

【代理人】

【識別番号】 100114672

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮本 恵司

【電話番号】 042-730-6520

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 093404

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0304862

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 入力データ記録装置及び入力データ記録方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定種類のデータファイルと他の種類のデータファイルとを入力する入力手段と、

該入力手段により入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを 1 つのディスク型記録媒体に記録するデータ記録手段とを有する入力データ記録装置において、

前記データ記録手段は、前記特定種類のデータファイルを再生する機器のデータシーク順を参照して、該機器による読み取り可能な領域に、前記特定種類のデータファイルのデータを記録することを特徴とする入力データ記録装置。

【請求項 2】

特定種類のデータファイルと他の種類のデータファイルとを入力する入力手段と、

該入力手段により入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを 1 つのディスク型記録媒体に記録するデータ記録手段とを有する入力データ記録装置において、

前記データ記録手段は、前記ディスク型記録媒体における前記他の種類のデータファイルが記録される領域より内側の領域に、前記特定種類のデータファイルのデータを記録することを特徴とする入力データ記録装置。

【請求項 3】

前記特定種類のデータファイルは、V i d e o - C D 形式のデータファイルを含み、前記他の種類のデータファイルは、コンピュータで読み取り可能な形式のデータファイルを含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の入力データ記録装置。

【請求項 4】

特定種類のデータファイルと他の種類のデータファイルとを入力し、入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを 1 つのデ

ディスク型記録媒体に記録する入力データの記録方法であって、

前記ディスク型記録媒体に、そのデータファイルを再生する機器により読み取り可能な領域が制限される前記特定種類のデータファイルを記録した後、前記他の種類のデータファイルを記録することを特徴とする入力データ記録方法。

【請求項 5】

特定種類のデータファイルと他の種類のデータファイルとを入力し、入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを 1 つのディスク型記録媒体に記録する入力データの記録方法であって、

前記ディスク型記録媒体における前記他の種類のデータファイルが記録される領域より内側の領域に、前記特定種類のデータファイルのデータを記録することを特徴とする入力データ記録方法。

【請求項 6】

前記特定種類のデータファイルは、V i d e o - C D 形式のデータファイルを含み、前記他の種類のデータファイルは、コンピュータで読み取り可能な形式のデータファイルを含むことを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の入力データ記録方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、パソコン等のコンピュータ機器や D V D プレーヤー、D V D レコーダー等の画像再生機器で使用するディスク型記録媒体にデータを記録する入力データ記録装置及び入力データ記録方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、写真画像に関する様々なサービスが提供されている。例えば、フィルムカメラで撮影した写真画像の場合は、ラボ等のフォトサービス店舗やコンビニエンスストア等の注文店舗にユーザが撮影したネガフィルムを持ち込むと、フォトサービス店舗では、ネガフィルムを現像した後、スキャナ等で画像データを読み取り、読み取った画像データを C D - R 等の記録媒体に書き込んでユーザに提供

するサービスが行われている。また、デジタルカメラで撮影した写真画像の場合も、デジタルカメラやデジタルカメラ用の記録媒体に記録された画像データを C D - R 等の記録媒体にバックアップするサービスが行われている（例えば、特開平 5 - 1 8 2 3 7 3 号公報等）。

【 0 0 0 3 】

このようなサービスを利用することにより、ユーザはパソコン等のコンピュータ機器で写真画像を再生することができ、更に、スライドショーソフトを用いて写真画像をスライドショーとして効果的に表示したり、電子アルバムソフトを用いて、画像データをアルバムとして整理したり、画像編集ソフトを用いて画像データをユーザの好みに応じて加工する等の様々な処理を行うことができる。

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】

特開平 5 - 1 8 2 3 7 3 号公報（第 4 - 6 頁、第 3 図）

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した C D - R 書き込みサービスは、画像データをパソコンで再生することを前提としているため、ユーザはパソコンの操作にある程度習熟している必要がある。そのため、パソコン操作に不慣れなユーザの場合は、画像データが記録された記録媒体を受け取っても簡単に写真画像を閲覧することはできず、サービスの利用促進の妨げとなっている。

【 0 0 0 6 】

一方、近年、DVD プレーヤーや DVD レコーダーのようなディスク型記録媒体を用いる画像再生機器が販売されており、この画像再生機器は一般の家電製品と同様に簡単な操作で画像や音声を再生することができ、かつ、画像を高精細に再生することができることから広く普及している。しかしながら、このような画像再生機器は、該機器専用の形式でデータが記録された C D - R や D V D - R を再生するものであり、静止画を記録する一般的なフォーマットである J P E G 形式の画像データなどを再生することはできない。従って、C D - R 書き込みサービスで提供される記録媒体を上記画像再生機器で利用することができないという

問題がある。

【 0 0 0 7 】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであって、その主たる目的は、パソコン等のコンピュータ機器でも、DVDプレーヤーやDVDレコーダーのような画像再生機器でも、写真画像を閲覧できるようにデータを記録することができる入力データ記録装置及び入力データ記録方法を提供することにある。

【 0 0 0 8 】

【問題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の入力データ記録装置は、特定種類のデータファイルと他の種類のデータファイルとを入力する入力手段と、該入力手段により入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを1つのディスク型記録媒体に記録するデータ記録手段とを有する入力データ記録装置において、前記データ記録手段は、前記特定種類のデータファイルを再生する機器のデータシーク順を参照して、該機器による読み取り可能な領域に、前記特定種類のデータファイルのデータを記録するものである。

【 0 0 0 9 】

また、本発明の入力データ記録装置は、特定種類のデータファイルと他の種類のデータファイルとを入力する入力手段と、該入力手段により入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを1つのディスク型記録媒体に記録するデータ記録手段とを有する入力データ記録装置において、前記データ記録手段は、前記ディスク型記録媒体における前記他の種類のデータファイルが記録される領域より内側の領域に、前記特定種類のデータファイルのデータを記録するものである。

【 0 0 1 0 】

本発明においては、前記特定種類のデータファイルは、V i d e o - C D形式のデータファイルを含み、前記他の種類のデータファイルは、コンピュータで読み取り可能な形式のデータファイルを含むことが好ましい。

【 0 0 1 1 】

また、本発明の入力データ記録方法は、特定種類のデータファイルと他の種類

のデータファイルとを入力し、入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを1つのディスク型記録媒体に記録する入力データの記録方法であって、前記ディスク型記録媒体に、そのデータファイルを再生する機器により読み取り可能な領域が制限される前記特定種類のデータファイルを記録した後、前記他の種類のデータファイルを記録するものである。

【0 0 1 2】

また、本発明の入力データ記録方法は、特定種類のデータファイルと他の種類のデータファイルとを入力し、入力された前記特定種類のデータファイルと前記他の種類のデータファイルとを1つのディスク型記録媒体に記録する入力データの記録方法であって、前記ディスク型記録媒体における前記他の種類のデータファイルが記録される領域より内側の領域に、前記特定種類のデータファイルのデータを記録するものである。

【0 0 1 3】

このように、本発明の構成によれば、CD-RやDVD-Rのようなディスク型記録媒体には、パソコン等のコンピュータ機器で再生可能な形式の静止画像データや動画データ、楽曲音声データ等のデータファイル（他の種類のデータファイル）と、DVDプレーヤーやDVDレコーダー等の画像再生機器で再生可能な形式のデータファイル（特定種類のデータファイル）と、必要に応じてアプリケーションやコンテンツなどが、各々の機器で再生できるように所定の領域に記録されるため、パソコンの操作に不慣れなユーザは、画像再生機器を用いて画像データを簡単に再生することができ、また、パソコンの操作に習熟したユーザは、各種アプリケーションを用いて画像データを表示、編集、加工等を行うことができ、様々なユーザが利用することができる記録媒体を提供することができる。

【0 0 1 4】

【発明の実施の形態】

従来技術で示したように、フィルムカメラやデジタルカメラで撮影した画像データをCD-R等の記録媒体に記録するサービスが行われており、このサービスを利用することにより、ユーザはパソコン上で画像データをスライド表示したり、電子アルバムとして整理したり、好みに応じて加工する等の様々な処理をする

ことができ、パソコン操作に習熟したユーザにとっては利用価値の高いサービスとなっている。

【0015】

一方、DVDプレーヤーやDVDレコーダーは、パソコンのように複雑な操作を必要とせず、簡単に画像データを再生することができ、かつテレビモニタで高精細な画像を観賞することができるという特徴があるが、DVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生できるデータは特別の形式で記録されたデータのみであるため、上記CD-R書き込みサービスで提供された記録媒体に記録された写真画像を表示することはできない。

【0016】

このように、画像データを利用するユーザは、パソコンを用いアプリケーションを利用して画像データを再生するユーザや、DVDプレーヤーやDVDレコーダーを用い簡単な操作で画像データを再生するユーザなど様々であり、上記CD-R書き込みサービスを普及させるためには、多様なユーザの要求に応じて幅広く写真画像を利用できるようにする必要がある。

【0017】

そこで、本発明では、入力データ記録装置に、デジタルカメラやカメラ付き携帯電話機等の写真撮影機器で撮影した画像データや、記録媒体に記録された画像データ、写真フィルムをスキャンして得た画像データ、動画データ、楽曲音声データなどの様々なデータを入力するデータ入力手段と、入力された画像データをスライドショーとして表示するための編集を可能とするデータ編集手段と、データ編集手段で編集したスライドショーのデータをDVDプレーヤーやDVDレコーダー等の画像再生機器で再生可能なVideo-CD形式、DVD-Video形式等のデータに変換するデータ変換手段と、これらのデータやアプリケーション、コンテンツなどを、コンピュータ機器と画像再生機器等の異なる機器で再生できるように機器のデータシーク順を考慮してCD-RやDVD-Rなどの記録媒体に記録するデータ転送手段及びデータ記録手段とを設けることにより、コンピュータ機器又は画像再生機器のいずれを用いても画像データの再生が可能となり、様々なユーザの要求に応えることができる。

【0018】

【実施例】

上記した本発明の実施の形態についてさらに詳細に説明すべく、本発明の一実施例に係る入力データ記録装置及び入力データ記録方法について、図1乃至図7を参照して説明する。図1及び図2は、本発明の一実施例に係る入力データ記録装置の構成を模式的に示す図であり、図3は、入力データ記録装置の機能を示すブロック図である。また、図4及び図5は、本実施例の入力データ記録方法の手順を示すフローチャート図であり、図6は、記録媒体のフォルダ構成を示す図、図7は、記録媒体におけるデータの記録領域を示す図である。

【0019】

なお、以下の説明で使用する「静止画像データ」とは、1枚の独立した画像データであり、ファイル形式によって、全ての画素のデータがそのまま書かれているものや、冗長度を省いて圧縮したデータとして書かれているものもある。例えば、パソコン等のコンピュータ機器で表示可能な形式としてはJ P E G方式で圧縮されたものが一般的であり、D V DプレーヤーやD V Dレコーダー等の画像再生機器で再生可能な形式としてV i d e o - C D形式やD V D - V i d e o形式などがあるが、他の方式で圧縮されたファイルや圧縮されていないファイルであってもよい。

【0020】

また、「動画データ」とは、ある一定時間間隔で画像を切り変えて表示するためのデータであり、例えば、M P E Gなどのファイルでは、基準となる画像のデータは独立したデータとして書かれており、それだけで画像の再現が可能であるが、それ以降は、基準画像との差分だけが記録されるため、基準の画像と比較して初めて画像が再現される。

【0021】

まず、本発明の一実施例に係る入力データ記録装置の構成について、図1を参照して説明する。本実施例の入力データ記録装置1は、スマートメディア、コンパクトフラッシュ（登録商標）、メモリースティック（登録商標）、S Dメモリーカード、マルチメディアカードなどの画像データが記録された記録媒体（以下

、入力用メディア 13 と呼ぶ。) を装填する入力用メディア装填部 2a、写真フィルムをスキャンして得られた画像データなどが記録された入力用記録媒体 14 を装填する入力用記録媒体装填部 2b、デジタルカメラ 15 やカメラ付き携帯電話機 16 等の撮影機器 (以下、カメラ機能を備えたデジタル機器を撮影機器と呼ぶ。) から有線又は無線、赤外線等によって画像データを読み取るための機器接続部 3、必要に応じて、通信ネットワーク 19 を介して他のコンピュータ機器やサーバ 18 と接続するためのネットワーク接続部等のデータ入力手段と、これらの記録媒体や撮影機器から読み取った画像データを記録する CD-R や DVD-R 等の出力用記録媒体 17 を装填する出力用記録媒体装填部 4 と、スライドショーの設定等の操作を行う操作部 6 及び表示部 5 とを備えている。

【0022】

また、入力データ記録装置 1 の機能をブロック図で示すと図 3 のようになる。すなわち、入力用メディア装填部 2a、入力用記録媒体装填部 2b、機器接続部 3、ネットワーク接続部等を用いてコンピュータ機器 20 で再生可能な静止画像データや動画データ、楽曲音声データ等を入力するデータ入力手段 7 と、表示部 5 や操作部 6 を用いて、入力した静止画像データや動画データ、楽曲音声データを用いてスライドショーとして表示するための編集等を行うデータ編集手段 8 と、編集したスライドショーのデータを DVD プレーヤーや DVD レコーダー等の画像再生機器 21 で再生可能な Video-CD、DVD-Video 等の形式のデータに変換するデータ変換手段 9 と、入力したデータや変換したデータ、アプリケーション、コンテンツ等のデータを、コンピュータ機器 20 及び画像再生機器 21 の双方で再生できるように記録順序を制御するデータ転送手段 10 と、データ転送手段 10 によって転送されたデータを出力用記録媒体 17 に書き込むデータ記録手段 11 と、入力されたデータを用いてスライドショーを再生するためのスライドショープログラム等のアプリケーションプログラムや入力されたデータに関連するコンテンツ等を記憶するデータ記憶手段 12 とを備えている。

【0023】

なお、ここでは、説明を容易にするためにデータ転送手段 10 とデータ記録手段 11 とを便宜上別々な手段としているが、これらは一つの手段として構成され

ていてもよい。また、本実施例では、入力データ記録装置 1 をデータの入力、編集、変換、記録までを一貫して行う装置として記載するが、本発明の入力データ記録装置 1 は、入力されたデータをコンピュータ機器 20 及び画像再生機器 21 の双方で再生できるように記録する機能を備えていればよく、上記手段の中でデータ入力手段 7 とデータ転送手段 10 とデータ記録手段 11 とを少なくとも備えていればよい。

【0024】

また、図 1 では卓上型の入力データ記録装置 1 を記載しているが、入力データ記録装置 1 の形態は任意であり、例えば、図 2 に示すようにコンビニエンスストア等に設置可能なキオスク型の装置としてもよい。また、本実施例では入力データ記録装置 1 を単体で動作する装置として記載しているが、例えば、ネガフィルムを現像する装置や現像済みの写真フィルムをスキャンして画像情報を読み取る装置等と合体した装置としてもよい。

【0025】

上記構成の入力データ記録装置 1 を用いて、データを入力してから出力用記録媒体 17 にデータが記録されるまでの手順について、図 4 のフローチャート図を参照して説明する。

【0026】

まず、ステップ S101 において、入力データ記録装置 1 の入力メディア装填部 2a や入力用記録媒体装填部 2b にデータが書き込まれた入力用メディア 13 や CD-R 等の入力記録媒体 14 を装填したり、機器接続部 3 にデジタルカメラ 15 やカメラ付き携帯電話機 16 等の撮影機器を接続したり、ネットワーク接続部を用いて通信ネットワーク 19 を介して他のコンピュータ機器やサーバ 18 に接続する等の各種方法により、データ入力手段 7 を用いて所望のデータを入力する。

【0027】

ここで、入力するデータは、静止画像データに限らず、動画データやこれらのデータをスライドショーとして表示する際に再生される楽曲音声データ等を含んでいてもよい。また、本実施例の入力データ記録装置 1 では、コンピュータ機器

20用の形式のデータを画像再生機器21用の形式のデータに変換する機能を備えているため、データ入力手段7からはコンピュータ機器20用の形式のデータのみが入力される構成としてもよいが、画像再生機器21用の形式のデータも同時に入力される構成としてもよい。なお、コンピュータ機器20用の静止画像データとしては、J P E G、B M P、J I F、E x i f等、動画データとしては、A V I、M P E G等、コンピュータ機器20で読み取り可能な任意の形式のデータを用いることができる。

【0028】

次に、入力された画像データをスライドショーとして再生する場合には、ステップS102で、データ編集手段8を用いて所定のスライドショー設定画面を表示部5に表示し、操作部6を用いてスライド表示する画像データの選択、表示順の設定、楽曲音声データの選択、スライド効果の設定、スライドショーと共に再生する動画データの選択等を行う。そして、コンピュータ機器20でスライドショーを再生するために、スライドショーの設定条件を記録した設定データを作成する。

【0029】

次に、ステップS103で、データ変換手段9では、データ編集手段8で編集された設定条件に基づいて静止画像データから動画データを作成し、DVDプレーヤーやDVDレコーダー等の画像再生機器21で読み取り可能な形式（V i d e o - C D形式やDVD-V i d e o形式等）に変換する。この動画データの作成方法は限定されないが、例えば、静止画像データに予め定められたスライド効果に基づく差分データを付加して生成することができる。

【0030】

次に、コンピュータ機器用のデータと画像再生機器用のデータの書き込みを行うが、コンピュータ機器20では、データが出力用記録媒体17のどの領域に書き込まれていても読み込むことができるが、DVDプレーヤーやDVDレコーダー等の画像再生機器21の場合、データシーク順（すなわち、データを読み込む順序）が設定されており、データが記録される領域によっては画像再生機器21で読み込むことができなくなってしまう。そこで、本実施例では、画像再生機器

用のデータが所定の領域（一般的にはディスク型記録媒体の場合は内側）に記録されるように記録順を制御している。

【0031】

具体的には、ステップS104で、データ転送手段10は、データ変換手段9で作成された画像再生機器21用の動画データ、静止画像データを再生するためのアプリケーション、関連付けデータ等（以下、これらを総称して画像再生機器用ファイル群と呼ぶ。）を、記憶手段12に予め設けられた書き込み用の所定のフォルダに転送する。すると、ステップS105で、データ記録手段10は、該フォルダから画像再生機器用ファイル群を読み出して、図7に示すように、出力用記録媒体装填部4に装填されたCD-R、DVD-R等の出力用記録媒体17の内側（画像再生機器用ファイル群記録領域17a）に記録する。なお、ここで、動画データの画像形式としてMPEG1を用いCD-Rに記録すればVideo-CD形式の出力用記録媒体17を作成することができ、動画データの画像形式としてMPEG2を用いDVD-Rに記録すればDVD-Video形式の出力用記録媒体17を作成することができ、どの形式のデータに変換し、どのような種類の出力用記録媒体17に記録するかをユーザが選択できる構成としてもよい。

【0032】

次に、ステップS106で、データ記録手段10は、コンピュータ機器20用のデータの記録を行う前に、画像再生機器21で使用可能なデータの領域を区分するために一旦セッションをクローズする。

【0033】

次に、ステップS107で、データ転送手段10は、データ入力手段7で入力したコンピュータ機器20用の静止画像データや動画データ、楽曲音声データ、静止画像データをスライド表示するためのアプリケーション、スライドショーの設定データ等（以下、これらを総称してコンピュータ機器用ファイル群と呼ぶ。）を、記憶手段12に予め設けられた書き込み用の所定のフォルダに転送する。すると、ステップS108で、データ記録手段10は、該フォルダからコンピュータ機器用ファイル群を読み出して、図7に示すように出力用記録媒体17に先

に記録された画像再生機器用ファイル群の外側（コンピュータ機器用ファイル群記録領域 1 7 b）に記録する。

【0 0 3 4】

上記手順でデータ及びプログラムが書き込まれた出力用記録媒体 1 7 は、例えば、図 6 に示すようになり、画像再生機器 2 1 で再生するためのデータやアプリケーションなどが格納される画像再生機器用ファイル群格納部と、コンピュータ機器で再生するデータやアプリケーションなどが格納されるコンピュータ機器用ファイル群格納部とを含み構成される。

【0 0 3 5】

また、画像再生機器用ファイル群格納部には、例えば、TV 画面に静止画像データを表示するためのアプリケーションを格納するフォルダ（C D I）と、静止画像データを元に生成した動画データを格納するフォルダ（M P E G A V）と、TV 画面に表示する画像データを格納するフォルダ（S E G M E N T）と、画像データを V i d e o - C D 形式用データ等として関連付けるファイルを格納するフォルダ（V C D）とが含まれている。

【0 0 3 6】

また、コンピュータ機器用ファイル格納部には、例えば、各種データを一括して管理するためのフォルダ（P S _ i m a g e）と、スライドショープログラムなどのアプリケーションが格納されるアプリケーション格納部（A P P L）と、デザインなどの専用コンテンツが格納される専用コンテンツ格納部（C O N T E N T S）とが含まれ、P S _ i m a g e の下位の階層には、ロット毎のデータを格納するサブフォルダ（P R D 0 0 0 1 2 0 0 3 0 2 0 3 0 0 1 等）が形成され、そのサブフォルダには静止画像データ（D S C 0 0 0 0 1 . j p g 等）と静止画像データを元に生成した動画データ（M O V 0 0 0 0 1 . a v i 等）とスライドショー実行時に再生される楽曲音声データ（A u d i o A . m p 3）等が格納される。

【0 0 3 7】

なお、図 6 のフォルダ構成は例示であり、アプリケーションや専用コンテンツは必ずしも必要ではない。また、出力用記録媒体 1 7 に記録されたデータをパソコンで認識し自動的に再生するための情報ファイルや実行ファイルを含めたり、

ロット毎のデータを格納するフォルダに静止画像データに対応するサムネイルデータを含めたり、画像再生機器用ファイル格納部の中にTV用スライドショーのBGMとして再生可能な楽曲音声データを含める構成とすることもできる。

【0038】

上記入力データの記録手順は、データ転送手段10が画像再生機器用ファイル群とコンピュータ機器用ファイル群の転送順序を制御する場合の手順であるが、これらのデータを同時に転送して、データ記録手段11側で順番に書き込む順序を制御するようにしてもよい。その場合の手順について図5のフローチャート図を参照して説明する。

【0039】

まず、前記した手順と同様に、ステップS201において、データ入力手段7を用いて、入力メディア装填部2aや入力用記録媒体装填部2b、機器接続部3、ネットワーク接続部から所望のデータを入力し、ステップS202で、データ編集手段8を用いて、スライド表示する画像データの選択、表示順の設定、楽曲音声データの選択、スライド効果の設定、スライドショーと共に再生する動画データの選択等を行う。次に、ステップS203で、静止画像データから動画データを作成し、画像再生機器21で読み取り可能な形式（Video-CD形式やDVD-Video形式等）に変換する。

【0040】

次に、ステップS204で、データ転送手段10は、データ変換手段9で変換された画像再生機器用のファイル群とデータ入力手段7で入力したコンピュータ機器用のファイル群とを、記憶手段12に予め設けられた書き込み用の所定のフォルダに記憶する。すると、データ記録手段10は、ステップS205で、該フォルダに記録されたデータの中から画像再生機器用ファイル群を抽出した後、ステップS206で、画像再生機器21のデータシーク順を考慮して、画像再生機器用ファイル群を出力用記録媒体17の内側に書き込む。

【0041】

次に、ステップS207で、データ記録手段10は、一旦セッションをクローズした後、ステップS208で、書き込み用のフォルダに格納されたコンピュー

タ機器用ファイル群を抽出し、ステップ S 2 0 9 で、出力用記録媒体 1 7 の画像再生機器用ファイル群が書き込まれた領域の外側にコンピュータ機器用ファイル群を書き込む。このような手順によってもコンピュータ機器 2 0 及び画像再生機器 2 1 の双方で再生可能な出力用記録媒体 1 7 を作成することができる。

【 0 0 4 2 】

このように、本実施例の入力データ記録装置 1 では、機器のデータシーク順を考慮して、例えば、DVDプレーヤーやDVDレコーダーのようにディスク型記録媒体の内側からデータを読み込む機器の場合は、出力用記録媒体 1 7 の内側に画像再生機器用ファイル群を書き込んだ後、その外側にコンピュータ機器用ファイル群を書き込むといった制御が行われるため、ユーザは、出力用記録媒体 1 7 を用いて、画像再生機器 2 1 及びコンピュータ機器 2 0 の双方で静止画像データのスライドショーや動画を鑑賞することができ、写真画像を幅広く活用できるようにすることができる。

【 0 0 4 3 】

なお、上記実施例では、入力したデータをコンピュータ機器用と画像再生機器用の 2 種類のデータとして記録する構成としたが、いずれか一方の機器用のデータのみを記録することを希望するユーザを考慮して、双方の機器用のデータを記録するのか、いずれか一方の機器用のデータを記録するのかを選択できる構成としてもよい。

【 0 0 4 4 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の入力データ記録装置及び入力データ記録方法によれば、DVDプレーヤーやDVDレコーダー等の画像再生機器でもパソコン等のコンピュータ機器でも再生できるようにディスク型記録媒体にデータを記録することができる。

【 0 0 4 5 】

その理由は、コンピュータ機器用ファイル群と画像再生機器用ファイル群等の 2 種類のファイル群を、画像再生機器のデータシーク順を考慮して、画像再生機器用ファイル群を出力用記録媒体の内側に、コンピュータ機器用ファイル群をそ

の外側に記録するように制御されるため、双方の機器で画像データを再生することができるからである。これにより、写真フィルムを読み取った画像データやデジタルカメラで撮影した画像データを様々な形態で利用することができるようになり、写真画像に関連するサービスの利用促進を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施例に係る入力データ記録装置の構成を示す外観図である。

【図 2】

本発明の一実施例に係る入力データ記録装置の他の構成を示す外観図である。

【図 3】

本発明の一実施例に係る入力データ記録装置の機能を示すブロック図である。

【図 4】

本発明の一実施例に係る入力データ記録方法の手順を示すフローチャート図である。

【図 5】

本発明の一実施例に係る入力データ記録方法の他の手順を示すフローチャート図である。

【図 6】

本発明の一実施例に係る入力データ記録装置で作成される出力用記録媒体のフォルダ構成を示す図である。

【図 7】

本発明の一実施例に係る入力データ記録装置で作成される出力用記録媒体のデータ記録領域を模式的に示す図である。

【符号の説明】

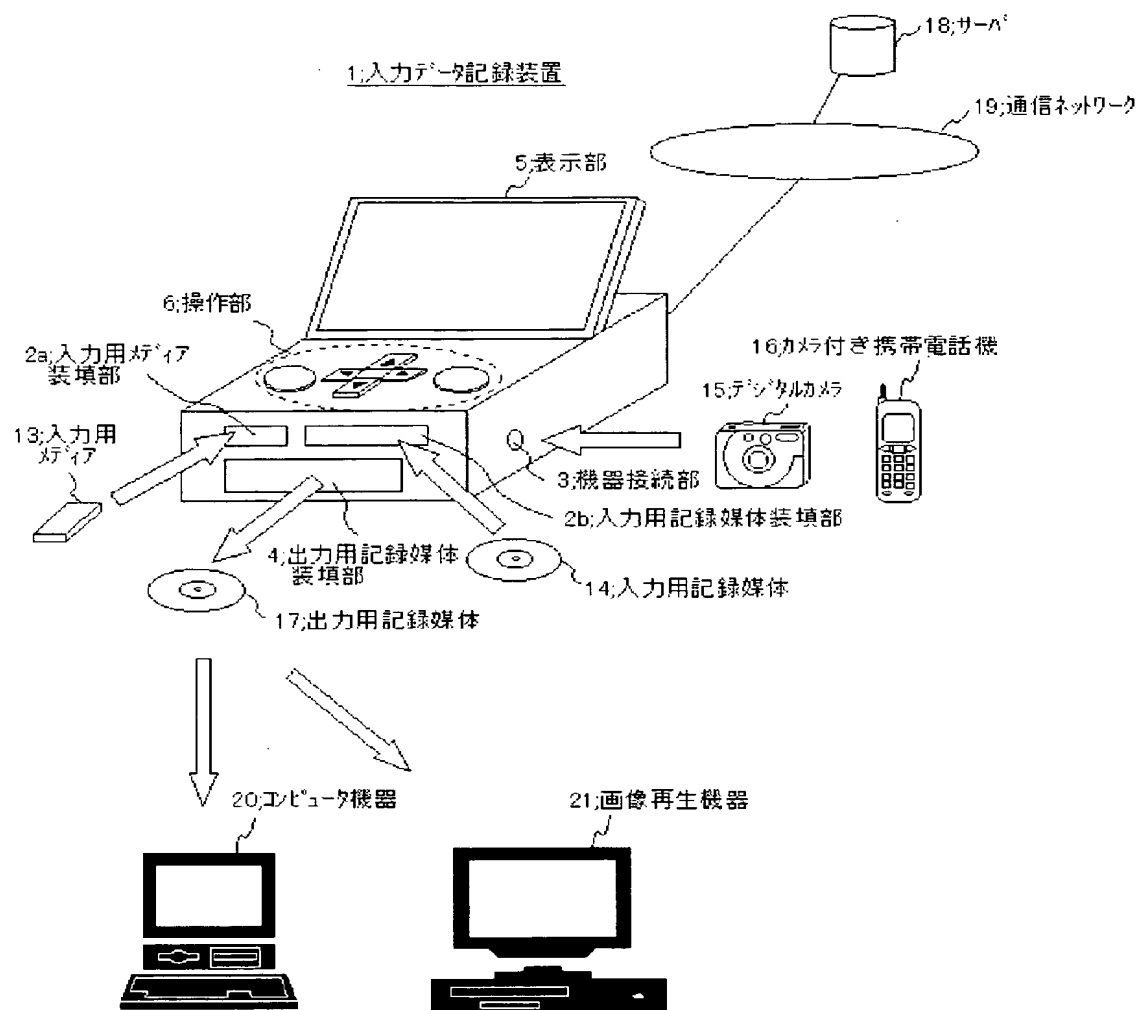
- 1 入力データ記録装置
- 2 a 入力用メディア装填部
- 2 b 入力用記録媒体装填部
- 3 機器接続部
- 4 ネットワーク接続部

- 5 表示部
- 6 操作部
- 7 データ入力手段
- 8 データ編集手段
- 9 データ変換手段
- 1 0 データ転送手段
- 1 1 データ記録手段
- 1 2 記憶手段
- 1 3 入力用メディア
- 1 4 入力用記録媒体
- 1 5 デジタルカメラ
- 1 6 カメラ付き携帯電話機
- 1 7 出力用記録媒体
- 1 7 a 画像再生機器用ファイル群記録領域
- 1 7 b コンピュータ機器用ファイル群記録領域
- 1 8 サーバ
- 1 9 通信ネットワーク
- 2 0 コンピュータ機器
- 2 1 画像再生機器

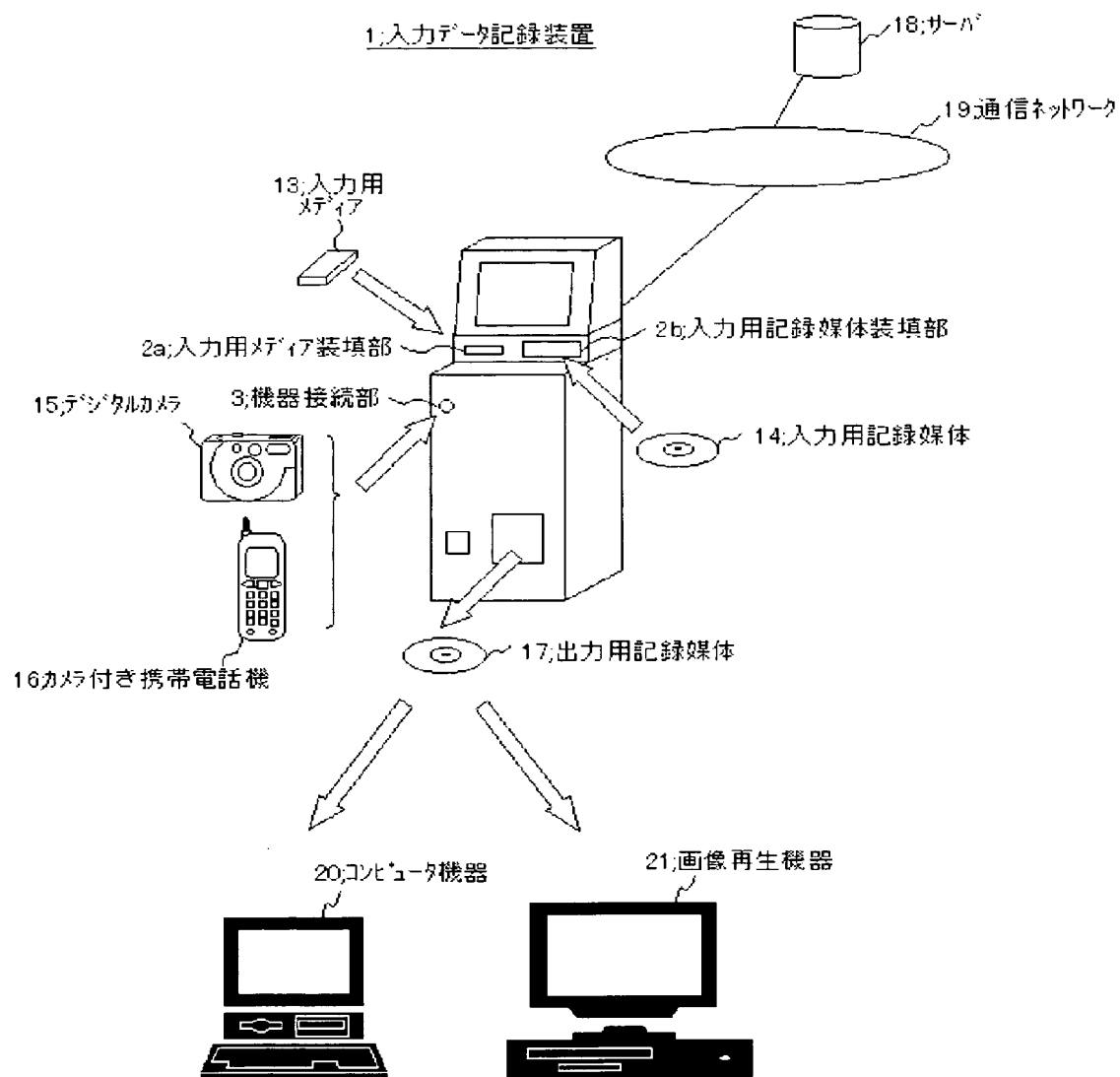
【書類名】

図面

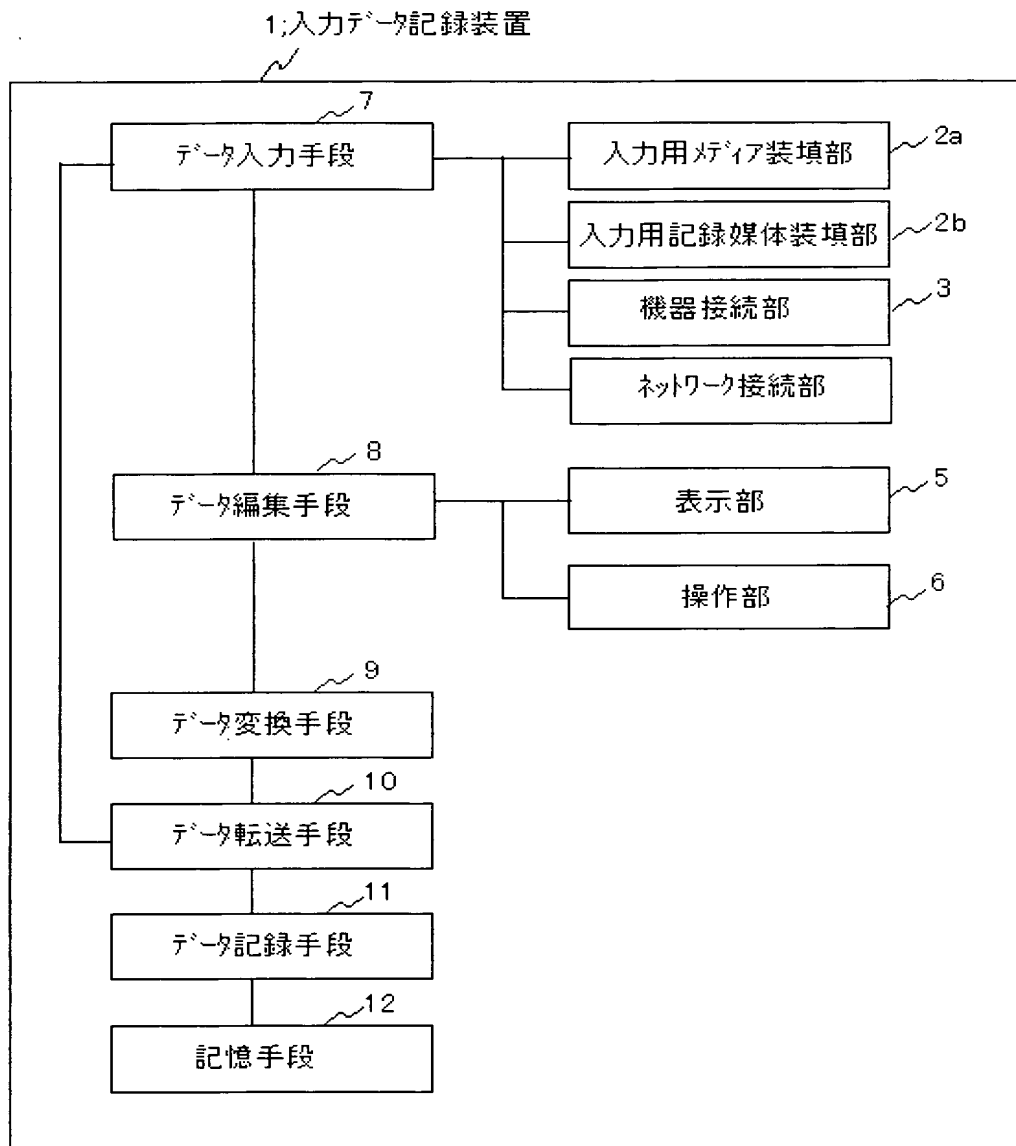
【図 1】



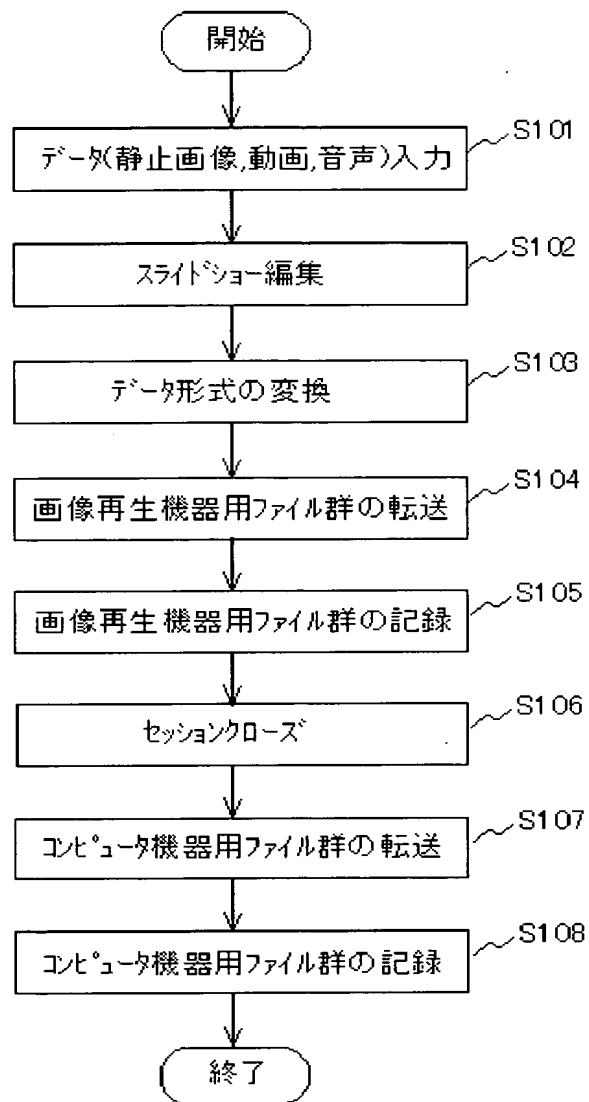
【図 2】



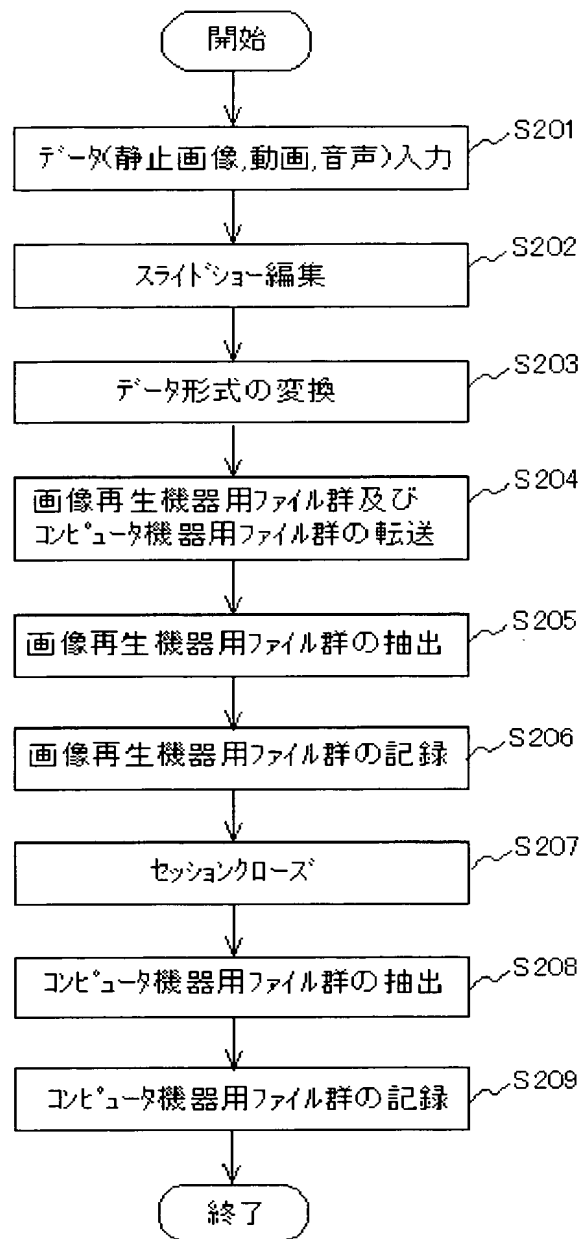
【図 3】



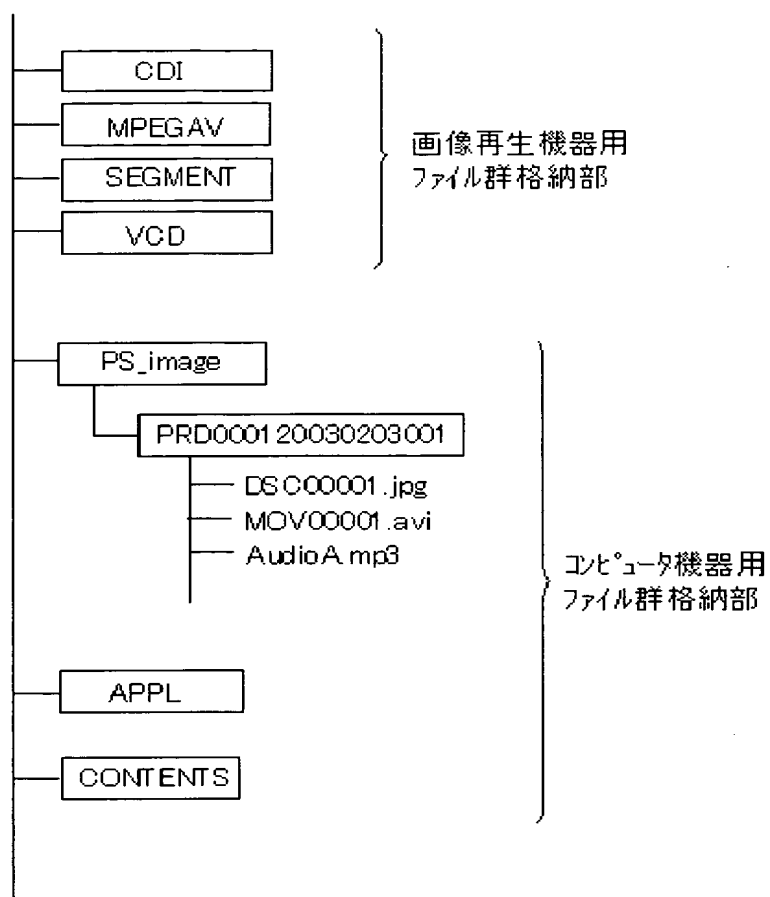
【図 4】



【図 5】

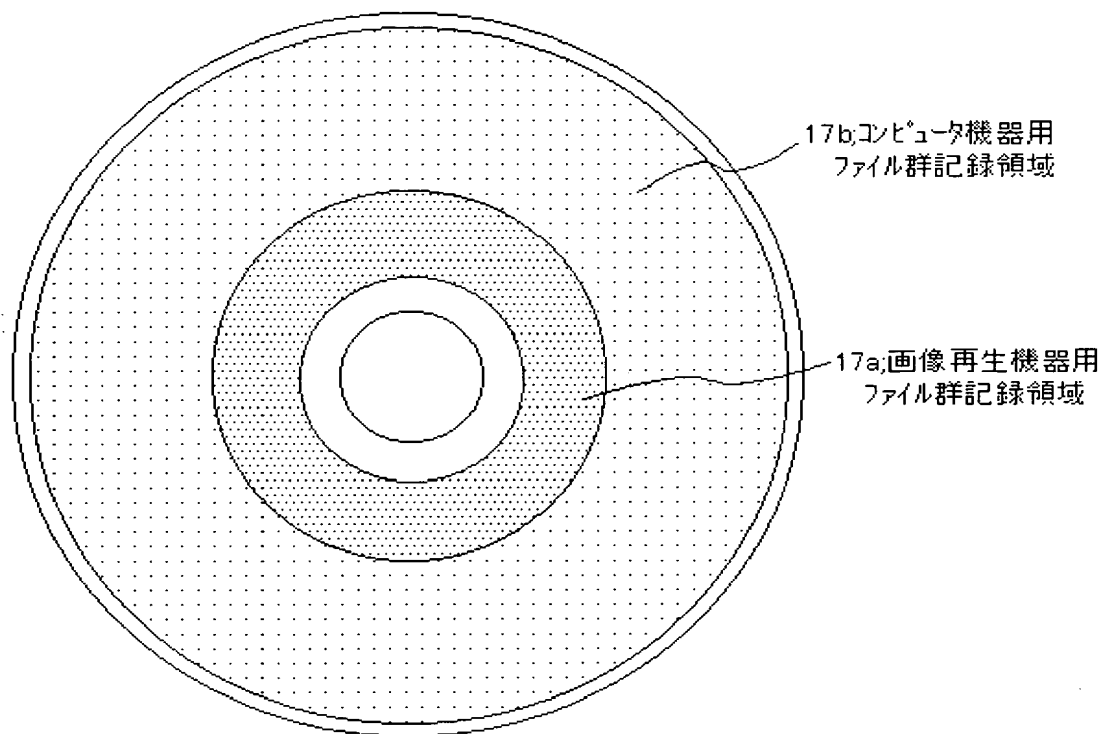


【図 6】



【図 7】

17,出力用記録媒体



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

パソコン等のコンピュータ機器でも、DVDプレーヤーのような画像再生機器でも、写真画像を閲覧できるようにデータを記録することができる入力データ記録装置及び入力データ記録方法の提供。

【解決手段】

入力データ記録装置に、画像データ、動画データ、楽曲音声データなどを入力するデータ入力手段7と、入力された画像データをスライドショーとして表示するための編集をするデータ編集手段8と、スライドショーのデータをDVDプレーヤー等の画像再生機器で再生可能なVideo-CD形式、DVD-Video形式等のデータに変換するデータ変換手段9と、これらのデータやアプリケーションなどを、コンピュータ機器と画像再生機器等とで再生できるように機器のデータシーク順を考慮してCD-RやDVD-Rなどの記録媒体に記録するデータ転送手段10及びデータ記録手段11とを備える。

【選択図】

図3

特願 2 0 0 3 - 1 1 7 9 5 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [3 0 3 0 0 0 4 1 9]

1. 変更年月日 2 0 0 2 年 1 2 月 2 0 日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都新宿区西新宿 1 丁目 2 6 番 2 号
氏 名 コニカフォトイメージング株式会社
2. 変更年月日 2 0 0 3 年 1 0 月 1 日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都新宿区西新宿 1 丁目 2 6 番 2 号
氏 名 コニカミノルタフォトイメージング株式会社